

※1作品につき、1応募用紙でご応募ください。保護者が内容をまとめて自筆またはパソコン入力することを想定していますが、子ども本人の手書きも可。内容によって、枠の大きさを変えて、記入してください。

※ご記入いただく内容は、市ホームページに公開するものです。公開を前提としてご記入ください。

※複数名での取り組みの場合は、全員のお名前をご記入ください。

作品応募用紙

がっこうめい 学校名	けやき台小学校	がくねん 学年	6年
ふりがな	いわもと そうた		
なまえ 名前(ニックネーム可)	岩本 湊太		
タイトル	三田市すごろく ～わくわくライフ三田～		

取り組みの動機(きっかけ)

コロナ休校中は、習い事もお休みで、お出かけもできず、時間が有り余っていて、家族でいろいろなアナログゲームをしました。トランプや UNO などのカードゲーム、人生ゲームや将棋などです。小さい頃にやった双六もなつかしくておもしろく、自分でも双六を作りたくなったからです。

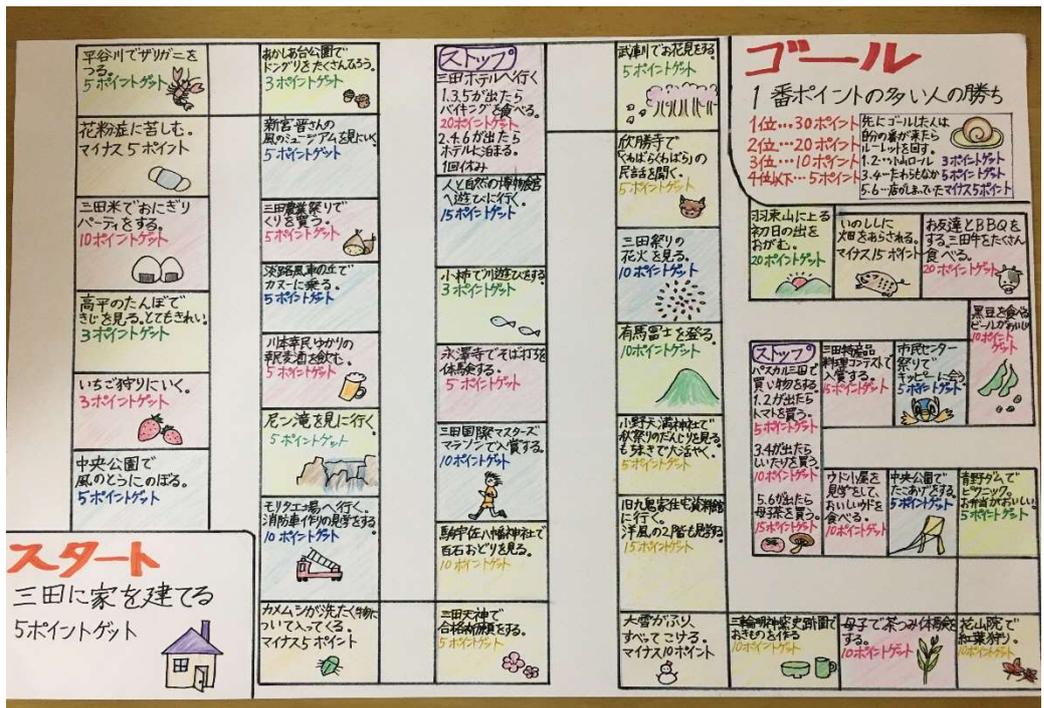
テーマを三田市にしたのは、遠くへ出かけられない今だからこそ、自分の住む町の楽しい場所を探し直したいと思ったからです。

- ・三田市の好きなところや楽しかった体験を思い出しながら作る。
- ・止まったマスに書かれているポイントをどんどん貯めていく、三田市での生活を楽しむ内容にする。
- ・ただし、暮らしていて不便に思うこともあるので、マイナスポイントとするマスを作る。
- ・自然(緑)、文化歴史(黄)、遊び体験(青)、食(ピンク)、マイナスポイント(黄土色)の五つで色分けする。

**とくみほうほう
取組方法、**

**ようす しゃしん
様子(写真)**

しゃしんげんぶつていしゆつ か
※写真現物提出も可



けっか
結果と

こうさつ かんそう
考察・感想

《考察》

- ・三田市について知るには、「三田市暮らしのガイドブック」が役に立つ。
- ・三年生の時に、三田市について学習した内容や、市内巡りをした校外学習を思い出すことができた。
- ・副読本「わたしたちのまち三田の自然」を参考にできた。
- ・小さい頃に遊んだ思い出は、三田市の自然とたくさん触れ合うことだった。
- ・神社やお寺、九鬼家にまつわる歴史など、文化や伝統も魅力がある。
- ・三田市には美味しく自慢できる農作物や特産品がある。

《感想》

ポイント加算式の双六にしたので、三田市の良いところをどんどん見つけられて楽しく作れました。もっと大きな紙があれば、まだまだマスを増やすことができたなあと思っていて、双六にのせた見所だけではおさまらない、三田市の魅力を発見することができました。

自分の住んでいる町には自然がいっぱいあって、ぼくたち子どもは自然の中で遊ぶのがすごく好きだし、楽しいです。

小さい頃は、九鬼家のふるさと学習館のイベントや有馬富士公園のイベントなどにもよく参加したし、お寺や神社の季節の行事を見に行くなど、三田市内のお出かけで週末をじゅうぶん楽しめるなあ、とあらためて感じました。

お母さんがよくパスカルに買い物に行くので、ぼくは三田産の美味しい野菜やお肉を毎日食べていることにも気付くことができました。

5つのテーマで色分けしたので、町の魅力を一目で見分けられます。三田市へ遊びに行きたいと思う人たちの場所選びの参考になったらいいなと思います。完成した双六を家族と一緒にやって、楽しかったです。三田市について、遊びながら学び直せたことが良かったです。



※詳しい募集要項については、市ホームページをご覧ください。

募集要項・応募用紙